

大きく変わる学校

共学化、新校舎で新しいタイプの学校に

芝国際中学校



東京女子学園中高は 1903(明治 36)年、私立東京高等女学校として開校しました。戦後は東京女子中学校高等学校となり、1991 年東京女子学園中学校高等学校に改称しました。開校当初から「社会の各分野で活躍する有能な女性(ひと)の育成と、これからの時代にふさわしい能力と見識を持ち、知性と教養を身につけた女性(ひと)の教育」を実施、1990 年代からは特に英語・国際教育に力を入れてきました。創立 120 周年となる 2023 年、新校舎完成とともに共学の芝国際中高の募集に移行、インターナショナルスクールとのコラボレーションも始まります。

1. 存在意義のさらなる進化と挑戦

120 年前、まだまだ社会的に劣位であった「女性の可能性」を、教育で守り、広げたい。それが本校設立の大きな目的でした。現代ではダイバーシティを生きる「世界の子どもたちの可能性」を広げることが求められています。「みえないものを見る力」「出せない答えを出す力」を備え、「希望循環型社会」を創る、「人の中なる人」を育成していくこと、それが本校の存在意義のさらなる進化であり、次の 120 年に向けて挑戦する目標です。

2. 新校舎で展開される新たな学び

建設中の新校舎は 12 階建てで、1～3 階にはラウンジ・多目的ホール・特別教室・教員室とともにメディアセンターが配置されます。図書や映像資料、ネットワーク環境が整備され、生徒個人だけでなく協働しての「課題の見付け方」「資料の探し方」「まとめ方」を身につけ、実践する場になります。また、STEAM 教育は最先端を体験することに重点を置き、生徒が自由に作品を作れるよう 3D プリンターも特別教室に設置します。

4～6 階は普通教室・清香庵(和室)・多目的ホールが配置され、オープンスペースも設置されます。創造的なグループワークを通してクリティカルシンキング、デザインシンキングのトレーニングを積んでいきます。11 階～12 階は体育館・ダンスホール・音楽室・屋上テニスコートになります。

7～10 階にはサイエンスに特化したインターナショナルスクールがあり、部活動や行事などの様々な活動を、異なる国籍、言語の受講生たちと共有することで校舎内に小さな地球を実現、磨いた語学力、国際感覚で自信を持って海外研修・海外留学に参加できるようになるほか、海外大学進学も十分に可能になります。

3. コース制と学力強化について

本科Ⅱ類・Ⅰ類コースと帰国生や特に英語を活用したい生徒対象の国際生コースの 3 コース制です。本科Ⅱ類は理系・医学部も視野に入れながら東大をはじめ、国公立・早慶上理・ICU・海外大学を目標、Ⅰ類は早慶上理・ICU・GMARCHなどを目標とします。国際生コースは英語上級者の ADVANCED クラスと英語初学者の CORE クラスを設定します。日常の知識・技能の習得は徹底したチェックとフォローで対応、放課後予備校も実施して「上位を創り中位を育て、下位を作らない」学習指導を行います。

4. 2023 年度一般入試について

国際生 ADVANCED は 2 月 2 日午後に英算国+面または英算+面(面はどちらも英+日)、本科と国際生 CORE は 2 月 1 日午前中に 4 科と適性検査型、1 日午後に 2 科 4 科選択と算数 1 科、算理 2 科、2 日午後と 3 日午後に 2 科と算数 1 科、5 日午後に 2 科と特色面接(自由に自己 PR)を実施します。